

令和6年度情報誌「ふるさとVitalization」の作成について

標記情報誌については、令和6年度から以下の新たな取組みを行うこととしましたので、業務受託の応募にあたっては、以下の内容にご留意いただきますようよろしくお願いいたします。

<考え方>広報効果の拡大への新たな取組み

近年、地域を志向する若者や女性が増加していることも踏まえ、こうした読者層を視野に入れつつ、より多くの一般国民が情報誌を手に取り興味や関心を持つとともに、国民の生活に直接役立つ情報収集のツールとしてより広く認知され地域コミュニティの話題に挙がるよう、より深みのある内容とするため、質・量の両面から改善をすすめることで広報効果の充実拡大を図る。

<具体的な取り組み>

(1) 充実策（質的改善）

① 広く一般国民に関心を持たれる内容に向けた強化

地域住民の関心が高い地域づくり（例：地域の魅力向上、関係人口の創出、新たな働き方など）について、著名人を活用した話題を提供すること等で興味を持つ人の読書意欲を喚起する。

② 地域の紹介

地域の観光地、名産品や食、文化や歴史を伝えることで、ふるさとへの愛着や誇りを高めるものとする。

③ 地域に役立つ情報の提供

特色ある“まちづくり”や、活動・イベントを伝えることで、地域活動等の活性化並びに自治体が進める施策への支援につながるものとする。

④ 宝くじのデジタル広告に寄与

日本宝くじ協会HPに接続するQRコードを誌内に設けるなど、当情報誌を通じた宝くじの更なる販売促進に寄与する。

⑤ 自治体が進める施策の支援

地域活性化、公民の連携、福祉の増進等、自治体が進める施策の支援につながるような内容とする。

(2) 拡大策（量的拡大）

効果的な広報機会を増やし、図書館、公民館や道の駅等、さらに多くの一般国民の目に触れるようにするため、年間発行回数及び発行部数の増加を図る。

	R 5		R 6
発行回数	年 4 回	➡	年 6 回
発行部数	合計40,000部		合計60,000部